

市議会

平成29年第4回市議会定例会が11月30日(木)から開催

Table with columns: 日程, 会議名, 主な内容. Lists meeting dates and topics like '会期の決定、議案上程'.

*日程は変更される場合があります

11月14日(火)にJアラートの

全国一斉情報伝達訓練を実施

Jアラート(総務省消防庁の全国瞬時警報システム)は、国から発令された警報を、人工衛星を介して各自治体の無線を自動的に起動し、音声により通達するものです。

このシステムは、地震・津波などの自然災害や、ミサイル攻撃・大規模テロなどの有事の際に起動し、緊急警報が市内123カ所の防災行政無線と個別

受信機から放送されるほか、緊急速報メールなどにより発信されます。訓練は、11月14日(火)午前11時頃、防災行政無線で「これはJアラートのテストです」を3回繰り返して放送します。今回の訓練は防災行政無線の放送のみです。皆さまのご理解をお願いいたします。

問 防災安全課(☎514・8962)

情報公開

日野市情報公開・個人情報保護運営審議会(公開)

日時 11月27日(月)午前10時から※中止の場合あり。事前にお問い合わせを

会場 市役所5階502会議室

問 総務課(☎514・8128)

構想・計画

「生物多様性地域戦略」素案への意見募集

日野市における生物多様性保全のための計画として生物多様性地域戦略の策定を行っています。この素案

に対するご意見を募集します。素案閲覧場所 市役所3階環境保全課、カワセミハウス、七生支所、豊田駅連絡所、市内各図書館および市

意見提出 11月1日(水)～17日(金)消印有効に、〒191-8686日野市環境保全課(☎583・4483) Kanryo@city.hino.lg.jp)へ郵送、FAXまたはメールで。意見、住所、氏名、電話番号を記入

問 環境保全課(☎514・8294)

まちづくり

東町土地区画整理審議会委員選挙および西平山土地区画整理審議会委員(借地権)補欠選挙の選挙人名簿を縦覧

選挙執行日 平成30年1月14日(日) 縦覧日時 11月16日(木)～29日(水)午前8

その他 交通費支給(市の基準に基づく)、有給休暇あり、社会保険加入

申込 〒191-8686日野市役所2階子育て課へ履歴書、免許保持者は教員免許などの写しを郵送または持参

予防接種・検診

乳幼児歯科無料相談

日時 11月の水曜・金曜日の午後1時30分・55分、2時20分から※3日・29日を除く

会場 生活・保健センター 内容 歯科医師による健診・相談・指導

定員 申込制で各回9人 注意 すでにむし歯がある場合は医療機関で受診を 申込 電話 問 健康課(☎581・4111) BCG(結核) 予防接種

平成30年度市立幼稚園園児募集

問 学校課(☎514-8719)

対象 ①入園時に幼児・保護者とも市内在住で住民登録をしている ②1年保育(5歳児)は平成24年4/2～平成25年4/1生まれ、2年保育(4歳児)は平成25年4/2～平成26年4/1生まれ

定員 下表の通り その他 保育料など詳細は、募集要項参照 選考 健康診断と面接※申込多数の場合は抽選 申込 11/6(月)～11(土)9:30～16:00に申込書類(募集要項参照)を入園を希望する幼稚園へ持参※申し込みは1園のみ

募集要項・申込用紙の配布 日時・会場 11/1(水)～11(土)9:30～16:00に各市立幼稚園で配布※3(祝)～5(日)を除く

園児募集の市立幼稚園一覧表. Table with columns: 園名, 所在地, 電話番号, 募集人数 (1年保育, 2年保育).

母子保健健康通信

*会場は生活・保健センター

Table with columns: 保健, 栄養, 歯科, 沐浴, 健康診査, 離乳食教室. Lists various health and nutrition services.

*市 区 から電子申請で健康課(☎581-4111)へ申し込み ※転入された方...妊婦、3～4カ月児、6・9カ月児、1歳6カ月児、3歳児の健康診査を受けていない方は健康課(☎581-4111)へご相談を

Table with columns: すくすくクラブ (歌や手遊び、お友達作り) 対象は3～12カ月児と保護者。時間は10:30～11:30

*すくすくクラブの問い合わせは各児童館へ

日野映像支援隊から

フィルムコミッション

NHK BSプレミアム「男の操」の撮影が日野中央公園、ひの煉瓦ホール(市民会館)で行われました。

放送日時 11/12(日)22:00から(予定)

問 観光振興課(☎514-8461)



市長 大坪 冬彦 コラム

定年後をどう生きる?

高齢化の進行で、高齢者の社会参加や就業の場の創出は大きな課題です。一口に高齢者といっても、その経歴は自営業・会社員や公務員などさまざまです。60年前は日本全体の就業者に占める雇用者数の比率は47.5%でしたが、昨年には88.9%になっています。つまり、雇用されていて定年退職した方への高齢者対策の比重が著しく高まっています。

4月に出版された『定年後50歳からの生き方、終わり方』(楠木新著)は、この定年後の男性に焦点を当てています。会社を通して間接的にしか社会とつながっていないサラリーマンは、定年後、地域や家庭での私的な人間関係を結ぶのに不慣れで孤立しやすく、定年後の行く末が厳しくなることが懸念されます。著者は「60歳から74歳までの黄金の時期を輝かせる方策」を提言します。その中で印象に残ったのが、「子供の頃の自分を呼び戻す」という指摘です。「小さい頃に得意だったこと、好きで好きで仕方がなかったことが次のステップの力を握っている」とのことです。

この本を読み、「13歳のハローワーク」(村上龍著)という本を思い出しました。子供の持つ好奇心を大切に、その好奇心を対象別に分け、その対象先にある数百の仕事・職業を紹介するという内容です。大人の世界の入口である13歳に対して書かれた本と定年後に向けた本が通底すると思いました。定年後をどうするか、行政の課題としても、そして私自身の問題としても、真剣に考えていきたいと思えます。

市政情報 HP

市政情報 HP

市政情報 HP

市政情報 HP

市政情報 HP

子育て・教育 HP